



2022年5月6日

各位

会社名 ステラファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 上原 幸樹  
(コード番号：4888 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理本部長 藤井 祐一  
(TEL 06-4707-1516)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、2021年11月8日に公表いたしました、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### ● 業績予想の修正について

2022年3月期の業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	123	△775	△827	△831	△29.60
今回修正予想（B）	100	△741	△764	△767	△27.34
増減額（B－A）	△23	34	63	64	
増減率（％）	△18.7	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	205	△680	△656	△659	△32.90

#### 修正の理由

売上高に関しましては、各種学会での情報発信のサポートなど、BNCTの普及に向けて取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により各種学会がオンライン開催となり、その訴求力が限定的となったこと、また、新型コロナウイルス感染症の拡大影響については予想に織り込んでいたものの、より感染力の強いオミクロン株の感染が急拡大し、政府によるまん延防止等重点措置が再発出され、想定より長期間において人々の外出自粛や医療の受診控えの影響が及んだことから、BNCT実施症例数は前回発表予想と比較するとやや軟調に推移し、売上高も前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、当社の業績指標であります当社製品の消費換算数量（累計）（注1）につきましては、前回発表予想では79箱を見込んでおりましたが、今回の業績予想の修正により、72箱を見込んでおります（前年実績66箱）。

また、当社製品の出荷は前期から始まっているため、前期売上高実績には医療機関で消費されたものだけでなく、医療機関および卸売業者の在庫相当分も含まれております。従いまして、業績指標である当社製品の消費換算数量、すなわち医療機関でのBNCT治療実績に紐づく実質的な販売収益の推移については、前年からは9.1%の増加を見込んでおります。

損益面に関しましては、上記の要因により売上総利益が減少したものの、事業計画の進捗状況を再評価し、経費削減を徹底した結果、営業損失は当初予想を 34 百万円改善する見込みとなりました。

また 2022 年 1 月 11 日に「貸倒引当金繰入額（営業外費用）の取り消しに関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、営業外費用 30 百万円を取り消したことにより、経常損失および当期純損失は当初予想から同額相当分、改善する見込みとなりました。

注 1. 「消費換算数量（累計）」とは、医療施設で実施された BNCT 実施症例数に、当社が独自で算定しております 1 治療当たりの平均消費袋数を乗じて得た値を販売規格である箱数に換算して、BNCT 治療に使われた当社製品の出来高を推計したものであります。

注 2. 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります

以 上